

師走の候、赤髭会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

先月行われました、赤髭会総会において、第3代会長 椎葉敬介さん（3期）から会長を引き継ぐことになりました。

桐竹弘之さん（4期）、白鳥哲也さん（9期）、椎葉敬介さん（3期）が歴代会長としてご尽力された、赤髭会も50年を越える活動となりました。この赤髭会を継続させ、さらに発展させていく役割を担い、責任の重さを感じています。

何卒よろしくお願い申し上げます。

この赤髭会の活動の目的は二つあります。

一つ目は現役部員の活動を手厚くサポートすること。

二つ目はOB・OGの親睦をはかり、横と縦のつながりをより深めていくことです。

先日、瑞宝章を叙勲されました、初代監督である小峯英夫先生として都立久留米高校創立と同時にサッカー部の活動が始まりました。小峯先生の志を引き継ぎ、都立の星となるべく、山口隆文先生（現日本サッカー協会技術委員会副技術委員長）、齋藤登先生（現東京都サッカー協会専任ユースダイレクター）のご指導のもと関東大会出場2回、総合体育大会（インターハイ）出場1回、高校選手権出場4回と、都立高校の部活動としては、特筆すべき成果をあげています。そして、今年度より加藤悠先生が監督として、スタッフ、選手224名、マネージャー13名、総勢237名の部員と一丸となり目標達成に向け、日々努力されています。

現役部員が充実した活動を送るためには、指導者の存在が不可欠です。監督、顧問の先生方だけでは、全員に目を配ることができません。現在、外部コーチの皆さんのご協力を得て、活動を行うことができます。また、合宿や遠征などを経験することは、高校三年間の思い出としてかけがえのないものになるはずです。そのためには、皆さんからの多くのご支援が必要です。ご協力をよろしくお願いいたします。

卒業後、サッカーに携わっている方々だけでなく、様々な分野でご活躍されているOB・OGの皆さんのネットワークをさらに広がる機会がこの赤髭会であればなによりです。会の在り方については、ご意見があると思います。今後は、役員の方々と力を合わせ、より良い会にしていく所存です。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、OB・OGの皆さまならびにご家族の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。